

2024年8月18日 主日礼拝

司 会 ①熊谷兄 ②吉原兄 ③佐々木兄(幡地姉)
祈 禱
奏 楽

賛 美 讚美歌461番「主我を愛す」
(心に感謝をもちながら)(栄光の雲が宮に満ちて)
3つの愛・365日信仰宣言

聖 書 ①② 詩篇103篇1～5節 (P838)
③ ローマ人への手紙12章9～18節 (P249)

音 楽 ルツ会(V)

メッセージ ①② 「主は良いお方」 久保田豊副牧師
③ 「霊に燃え主に仕えよ」 大川従道主任牧師

賛 美 「地上では旅人」 献金
頌 栄 「聖なる聖なる聖なるかな」(讚美歌66番) アーメン
祝 禱

「あなたがたは、できる限りすべての人と平和に過ごしなさい。」
(ローマ十二の十八)

【大和ニュース】

☆先週の礼拝説教の感想文が、なんと11人から届いた。まさか熱中症の影響ではないでしょうか？旅の疲れがいっぺんにふっとんだ！浜松教会での講師へのもてなしは50数年の牧師生活でナンバーワン体験。ホント！

- ・ エステル会(12:30・森)、送迎駐車場奉仕会(13:00・3階フェロシップ)
- ・ 青年会は松原湖キャンプ場、学生会は東山社にて。お祈り下さい。18～20日まで。
- * 第4礼拝は船山伝道師。『良いものが与えられる』18:00～19:00。

- * 今週は「聖霊大学スペシャル」。水夜と木朝。小山英児先生。木曜はヌイヌイ、折り紙。
- ・ 土曜は生花奉仕、アブラハム会駐車場掃除(8時半)、会堂掃除(12時)、聖歌隊(13時半)。
- * 主日礼拝人数 ①70人(217) ②203人(141) ③265人(265) ④22人=1183人
定例祈禱会 水曜72人(128) 木曜123人(79)=402人 ※()内はYouTubeのライブ人数

石の枕

先週の終戦記念日には平和を覚え教会でも共に祈りの時間を持ちました。戦時中のミッションスクールについて書かれた文章がありました。横浜フェリス学院に関するものです。(この教会にも関係されておられる方々がおられます)。

ミッションスクールが、戦時下においては敵国によって建てられた学校だと危険視され、圧力をかけられました。校名の変更、国旗掲揚、宮城遥拝(皇居に向かって敬礼)の強制。生徒たちは、制服をモンペに履き替え、勤労奉仕に駆り出される。このような状況の中でも毎朝の礼拝は食堂で全員起立して守られ、当時の校長が最後に「今日も味方の兵士の上にお恵みを、それと同時に敵の兵士の上にも」と祈り、またある時は「この戦争を一日も早くやめ給え」とすら祈ったという。このことは、当時の生徒たちの心にも強く残っており、「あの頃は子どもで、一緒に『アーメン』と言って祈っていたが、今思えばあの時代にそういうことを口に出して祈ることは大変勇気のいることだったのではないかと思う」と当時の生徒は振り返っている。生徒たちも、勤労奉仕先の工場でも礼拝は行っていたという。礼拝は「フェリスの本質を求めてやまない気持ち」が自然に湧き上がってきて、生徒が自主的に行っていたと言い、「見えない力に支えられているという安心感があった」と述べている。こういった一連のことは、同校だけでなく、同じく横浜にあったミッションスクール、捜真女学校、共立女学校、横浜英和女学院でも同様であった、と書かれていました。

どのような環境でも神様を第一にする姿、そのような信仰者によって恵みが引き継がれている事に感動を覚えます。また引き続きミッションスクールのためにも祈ってまいりたいと思います。(文責:佐々木副牧師)



全国中高生クリスチャン川柳コンテストより

マスクでも 賛美ささげる 心から
讚美歌で 歌い始めの フライング
通読は レビ記の壁が 高すぎる

* 中高生が通読に挑戦する姿は素晴らしい！ 私たちも祝大に挑戦しましょう！！

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！
Aコース:ローマ16章～Iコリント6章 Bコース:詩篇109篇～120篇